

報告その2 不登校の『その先』 **きみの笑顔が見たい**

NPO法人梶原あそび基地Largo(ラゴ)フリースクール代表水澤麻美さん)開設イベント4月22日(日)in 建長寺 小林大真さんのミニ講演をお伝えします。

小林大真さん V.S. 不登校 & ROCKET in 建長寺

映像(右写真 制作:おおまサン、音楽:ヒカルさん)を見て頂きましたが、あまりに恥ずかしくて外にいました。では小林大真、自分の略歴を長く話します(笑)。自分の歴史に関わる人がこの会場にいて怖いんですけど、今年で16歳。高校1年生です。不登校でした。胸を張っては言えませんが世間的に言われる問題行動をやってました。川崎で生まれ、幼稚園に入って泣きじゃくって暴れていました。小学校4年生でこの鎌倉という地に引っ越してきました。変化が苦手でパニックになってガタガタする、授業中に鉛筆で机をトンカンとんかんとたたくという。最初は自分がソワソワしていたのに周りのみんなもソワソワして(笑)、先生に教室からつまみ出されます。自分は授業に出たいわけですから音を出しながら居ようとするんですが、追い出されます。学校は勉強するところです、追い出されたら勉強できません。だんだん学校に行くことがなくなりました。勉強できないんだから学校へ行かなくていい、給食だけは食べに行きました。美味しいですからね(笑)。小学校6年ぐらいに、この落ち着かないのをどうにか心落ち着かせようと鎌倉にある素晴らしいもの、神社仏閣を巡り始めました。ご朱印帳を始めて学校へ行かない時間を利用して建長寺、円覚寺、浄智寺、浄楽寺、東慶寺、寿福寺、海蔵寺…お寺を巡りお坊さんと知り合い話をし、学校へ行かなくても歴史を学ぶことができました。学校へ行かなくても何かを学ぶことはできるんだと気がつき始めました。そして新たな変化、小学校からの卒業、



解放? やっと懲役が終わって娑婆に出られたと思ったら、中学校という新たな監獄に投獄です(笑)。小学校と同じように授業から先生につまみ出され、帰ろうとすると先生が追ってきます。怖い顔をして4~5人の先生が追ってきます。持っていた傘で先生をぶん殴り、傘が折れ学校へ行かなくなりました、それが中学1年生4月最後のことです。学校へ行くのはやめようと、行っていません。その後もお寺を巡りましたが、ゲームもやりました。私はゲーマーです(笑)、暇つぶしですけど。暇を思う存分楽しんで、そこ

から何かに発展して学ぶことに行ったらいいなと思っています。今N高(通信制)に入りました。学びの多様性があり、あらゆる学び、生き方が促される世の中になればいいと思っています。私は親や先生やその他の人の影響で文章を書くことが好きになりました。これまでウィキペディア(Wikipedia インターネット上のフリー百科事典)の鎌倉のお寺の記事の間違いを編集してきました。その結果、文章を書き情報を整理する能力が付き、自分と周りの役に立つことが分かったので、**今は自分の好きを追求しながらいろんなことを頑張っているところです。**問題行動を起こしてきましたが、それは暇をつぶせなかったからで、**暇をつぶせたら問題行動ではなくなる。**これからも暇つぶしをどんどん追求していけたらと思っています。ご清聴ありがとうございました。(👏) 😊 ♡

小林大真さんの存在感とは 水澤麻美代表「今回の企画は大真さん



にたくさんアドバイスしてもらいました。初めに流しました映像も、大真さんとROCKET友人の山下光さんが制作してくれました。“学童保育ふかふか・フリースクールLargo”の場所を提供してくださいました矢沢工務店さんへの感謝を込めた素敵な映像ができ、うれしい限りです。

大真さんとはスタッフとなりましたお母さまの小林由起さんとの出会いから始まりました。最初は目を合わせること、挨拶もしたかしないか…でした。この半年で目はばっちり合わせられるようになりました。ドジをしてしまう私を、いつもドンマイと横で笑ってくれて、助けられている状況です。今日のパンフレット表紙・チラシ(右写真)も大真さんの筆書き、イラストは2人の妹さん、レイアウト編集はお母さまで、小林家の総力です。ありがとうございました。」※この後、ご参加の団体・教育など関係者の紹介がありました。3部は次号に続きます。(文責:滝田衛)



コラム風 大人が自由なルールを創造しよう (滝田衛)

4月は建長寺で鼎談コーディネーター、5月はLargoで子どもたちの未来へ、大人の生き方についてお話をさせて頂いた。中邑 Dr の講演から「未来は大人が考える。子どもは今を生きる」と勝手に解釈した僕は、子ども若者の「今ここで!」を、大人たちの未来に向ける行動へ共有しようと考えている。だから、子どもが不登校に悩む必要はない。大人(社会)が子どもを追い込んでいる結果、子どもは不登校に悩む! ひきこもる若者が絶望する必要はない。働き方を含めた“社会参加”の手立てを大人(社会)が築いてない結果、若者を絶望させる!

例えば小中9年間教育、子どもにとっては権利である。それを保障するのが親や社会である。日本国憲法26条は、一項に子どもの教育の権利を、二項に保護者の教育の義務を謳っている。憲法条文は一項が優先するので、教育は「権利」なのである。ところが、小中9年間教育を「義務教育」と常に既定する社会、親も教師も政治家も、もちろん子ども自身も。「学校へ行くのは義務、あたりまえ」と。そこで、ちょっと日本国憲法をサマリーしましょう。

太平洋戦争敗戦で日本は生まれ変わったのではありません。1889年制定の大日本帝国

憲法は日本国憲法に継承されました。以下の憲法改正の経過から明らかです。1946年6月8日枢密院本会議において草案決定、大日本帝国憲法73の憲法改正手続に従い8月24日第90回帝国議会(衆議院)で修正可決。10月6日貴族院で修正可決され、10月29日枢密院で可決し、帝国憲法改正案は天皇の裁可を経て11月3日に「日本国憲法」として公布された(国立国会図書館HP)。いわゆる「国体」は継承されたのです。

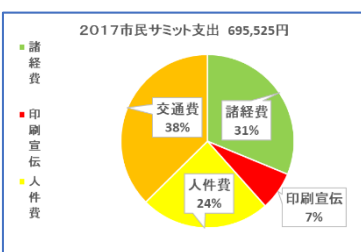
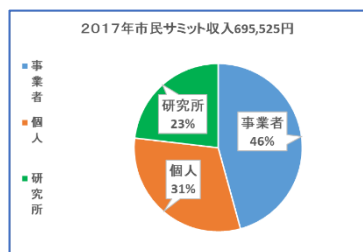
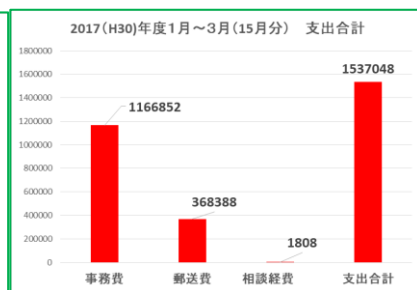
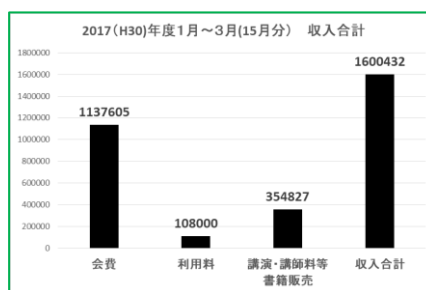
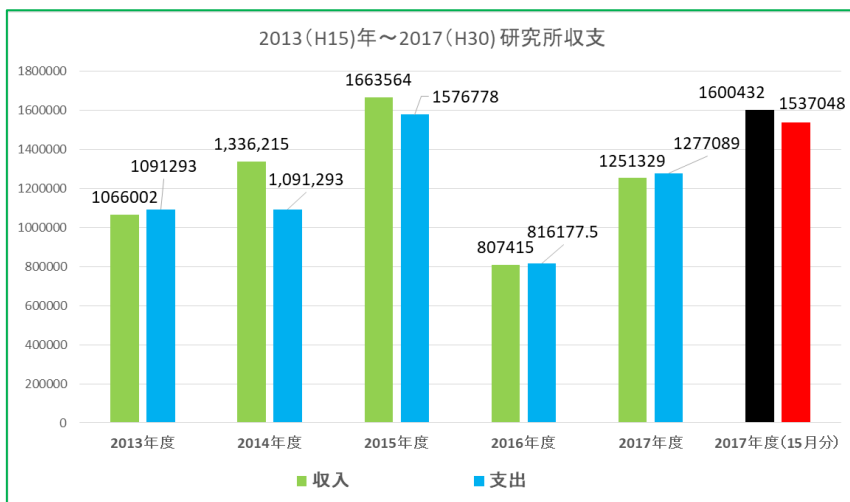
話しは戻ります。帝国憲法では、臣民の義務は納税・兵役でした。教育の義務はなく小学校令で決められていました。ところが日本国憲法では、国民の義務を納税・勤労・教育と決めました。兵役の義務は廃止され、納税は継承、勤労と教育が新たな義務となりました。権利をセットに。ここに帝国憲法下の臣民を継承する思想を僕は読み取ります。国民を勤労と教育の義務で「国家」に縛り付ける支配思想、「国家」に従属する子ども国民に勤労と教育の義務を負わせます。結果、権利としての教育は就学制度、“学校”でしか学べない権利なのです。一方勤労の権利は国家・経営者に従属し“雇用・失業”は自己責任なのです。

子どもは「国家」支配の義務教育に苦戦し、若者は勤労と納税の義務に追い込まれます。今年から小学校で教科となった道徳は「国家」支配の“見える化”の象徴です。子ども若者は学ぶ自由や働くことの社会貢献を実感できず、ひかれたレールを歩み、学ばされ働かされる非主体的な存在として位置付けられているのが実態です。大人は「国家」からの自由なレールをローカル、地域の中で自らが創造する、それが子ども若者の未来を実現することと…。

決算報告 七里が丘こども若者支援研究所事業

6年目への研究所活動のたゆまぬ努力をお誓いし、5年間の総決算をグラフにてご報告いたします。総収入5407,626円頂いております。市民サミット実施上、2017年度は15月分(黒赤)を右記棒グラフに加えています。收支内訳は下の棒グラフです。会費や寄付、事業利用料や謝金などで運営できておりますのは、会員及び支援者・利用者の皆様のおかげです。ありがとうございました、厚く感謝申し上げます。

また“三浦半島いじめ・不



登校解決市民サミット”決算(決定版)を円グラフにてご報告いたします。無料開催できましたのも皆様のご厚情のお蔭です。以上ご不明点ございましたら研究所へお申し付けく

ださい。今年度からは3地区応援団開催となりました。研究所をキーステーションに、新たに逗子“ひきこもり発信プロジェクト(新舛秀浩さん)”、鎌倉“Largo(ラルゴ 小林由起さん、NPO 梶原あそび基地：水澤麻美さん)”が活動に加わりました。横須賀“たすき塾(高島智子さん)”“マジスティック(涌井貴暁さん)”“リトルエジソン(龍崎明信さん)”、そして高比良秀一・和枝さんジャズピアノ、小幡沙央里・加藤裕介・安川有里さんの地域活動と、三浦半島域での活動が広がってまいります。5月22日現在、会員申込73名、寄付151,000円(15名)を頂いております。いつかは終焉、さらに拡散が展開されることと思いますが、今しばらくはお付き合いいただければ幸いです。毎月3地区の応援団会議に足をお運びください。ネット&facebook(広報：永野亜由美さん)発信中です。(滝田衛)

それぞれの風 不登校の子どもたちが幸福になってほしい

○…前略…通信を読ませていただいているうちに“建長寺”にはまってしまい「五山一位巨福山(こぶくさん) 建長興国禅寺(こうこくぜんじ)。鎌倉随一とあってよい巨刹(きょしゃ)だが、かつてこの地は地獄谷といわれ、処刑場でありまた荒涼(こうりょう)とした死体捨て場だった。」(鎌倉に異国を歩く：石井喬著)等々横道にそれてしまいました。私は不登校の子どもたちを面倒くさいと思ったことは一度もありませんし～前回報告の中邑氏のイロニー的発言に答えて～、普通といわれる子どもも障害を持った子どもも、犯罪や病気や問題を抱えた子ども、もちろん不登校の子どもたちは皆、幸福(しあわせ)になってほしいし、未来に期待しています。…後略。(会員：高橋孝子さん 元教員/福祉相談員 20年前横須賀市不登校教室(担当：滝田)を取材して下さった記事を同封くださいました。6枚の手紙に感謝♡)

○…七里が丘研究所において、いつも先進的・意欲的に活動をなさっていらっしゃる様子を伺って、若者への優しい中にもキリッとしたまなざしを向けておられると感動しております。…私たちの団体は手弁当・無報酬でボランティアをして、それでもスタッフは子どもたちのためにとアイデアを出し合って活動しております。子どもたちの笑顔が私たちの何よりの喜びで活動しております。(庄村邦子さん【改名】ミナクルあすなろの家 元不登校・ひきこもり居場所あすなろ)

○ラルゴオープニングイベント案内読ませていただきました。将来の進路は重要なテーマです。その場合地域社会で近隣の人たちと一緒にどう生きて行くかが課題でしょう。アンガージュマンで教えてもらいました。(久田邦明さん 青少年行政・おせったい研究者 闘病中お元気で)

6月予定 ○5/31～6/3:ヒロシマ 妻帰郷に随伴&平和の旅(?) ○10日(日)午後2時～横須賀応援団会議・マジスティック&リトルエジソン：横須賀市民サポート活動センター ○16日(土?)午前10時 Largo 女子会・鎌倉応援団会議：Largo ○21日(木)18時30分～思春期講演会：神奈川中学校 ○23日(土)14時30分～思春期講演会：蒔田中学校 ○24日(日?)逗子応援団会議・ひきこもり当事者プロジェクト：逗子市民交流センター ◎Largo：5日(火?)、12日(火?) ◎鎌倉市相談センター8日(金)、11日(月)、15日(金)、19日(火)、20日(水)、22日(金) 深沢小、26日(火)、27日(水)大船小、28日(木)富士塚小 ◎相談5日(火)、12日(火)、21日(木) ?は未定です

※ **お集まりください** 7月1日(日)午後2時 応援団本部会議 in 鎌倉・七里が丘支援研究所 会員 & 非会員どなたでもご参加いただけます。お集まりください。

【発行編集：滝田衛】 携帯：09072124055 メール：qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp

●研究所ホームページ：<http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/>

●応援団フェイスブック：<https://www.facebook.com/kodomowakamono.ouendan/>